

京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >>

研究指導、演習、フィールド調査、TA・RAへの従事、学会への参加、学会誌投稿論文の執筆、学振への応募等を通しての多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生物の生産と利用、地域のレベルから地球規模にいたる環境保全、人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、社会の持続的発展のためにとるべき諸施策を提案したり、新しい認識枠組みを提起することを自らの使命と感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

各分野開設の講義2(農業食料組織経営学2, 農業経営情報会計学2, 地域環境経済学2, 食料・環境政策学2, 森林政策学2, 開発ミクロ経済学2, 比較農史学2, 農学原論2)

各分野開設の専攻演習2(農業食料組織経営学, 農業経営情報会計学, 地域環境経済学, 食料・環境政策学, 森林経済政策学, 国際農村発展論, 比較農史学, 農学原論)

本専攻(および他専攻・他研究科)開設の講義

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募等

各分野開設の講義1(農業食料組織経営学1, 農業経営情報会計学1, 地域環境経済学1, 食料・環境政策学1, 森林政策学1, 開発ミクロ経済学1, 比較農史学1, 農学原論1)

各分野開設の専攻演習1(農業食料組織経営学, 農業経営情報会計学, 地域環境経済学, 食料・環境政策学, 森林経済政策学, 国際農村発展論, 比較農史学, 農学原論)

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・政策のための科学プログラム

ダブルディグリープログラム